

学級
通信ロマンと
ソロバンissue 4
1999.6.9

(財)大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラムNPOコース事務局

前回のおさらい

第4回目のスクーリングは「NPOスクール言語表現基礎II - インターン課題の明確化 - 」と題して、テーマを持つことの必要性和テーマの作り方を学びました

18:30 ~ 意見文と事実文について (中村)

~ 18:55 レクチャー

~ 19:10 セルフワーク

19:10 ~ プレゼンテーショントレーニング

~ 19:20 セルフワーク

~ 19:35 グループワーク

19:35 ~ プレゼンとまとめ (中村)

19:55 ~ 連絡事項・感想文記入

インターンを始めるにあたって / JUCEE 講演会案内

20:00 ~ 談話室にてサロン

前回の講義では、まず説得力のある文章表現を身につけるために中村先生から「事実文と意見文」についてのお話がありました。「事実文」とは、客観的な事実のみを書いた文、「意見文」は「思った」「感じた」などの個人の主観が入った文のことです。そして両方が入った混合文もありましたね。その後は、皆さんが以前に「もっとも力を注いだこと」を課題として、600字の作文をしてもらいましたが、その作文をみんなで「事実文」「意見文」「混合文」の添削をしましたね。こうしてみると自分の文章にいかに「意見文」が多いか一目瞭然だったと思います。

次に、点訳ボランティアの抱えた事例について、自分ならどんな選択するかを「説得力をもって、簡潔に語る」ために、(1)自分の言いたいこと・目的を明確にする、(2)自分の意見の裏付けを提示する、(3)自分意見を再確認・再検討する、(4)結論を述べる、といったようなステップで考えていきました。グループでの発表をもとに代表を選んで6人が意見を発表しましたが、「ボランティアでできる部分をはっきりさせてそれ以外は断る」「NPOをつくり、有償で行う部分とボランティアで行う部分を分ける」などの意見が出ました。しかし「アドボカシー」などキーワードが説明に使わず、「NPOを語るキーワードを持とう」としてインターン動機の明確化については中村先生よりアドバイスがありました。

「皆さんは残念ながら、まだ事実の文章を書くだけの知識がありません。だからどうするかというと、自分を語るしかないんです。知識がないからと言っても、皆さんはもう20年間生きているわけですから、その20年間の重みがあるんです。だから自分を語るが大変重要な事実文になるんです。」

インターン課題の明確化には社会を語る視点としては、(1)なぜ就業体験(インターン)なのか?、(2)なぜNPOなのか、(3)なぜその分野なのか、そして自分を語る視点としては、(1)キャリアデザインとの関連、(2)過去の体験との関連、(3)専門学習との関連、(4)思想的関心との関連、があります。インターン活動を始める前にもう一度、チェックしてみてください。

| | | |
|---------------|----------------------------|------------------|
| data sheet | 内容：レクチャー + グループワーク + マッチング | 欠席：新野くん(教育実習) |
| | 事実文と意見文について + プレゼンテーション | ゲスト：なし |
| NO.4 (6/2) | 課題：言葉を調べておく | オブザーバー：明井さん(一期生) |

感想文から

前回は全体的に、赤信号が増えてきたかな？という内容の感想文でした。

多かった悩みは「自分の動機が明確にできない」と「自己表現がうまくできない」というものでした。これは特に前回の中村先生のレクチャーの影響でしょうか。受け入れ先NPOとのマッチング真っ最中だということもあるでしょうね。まだインターンが始まっていないがゆえの不安もありました。「現場にまだ行っていなので、一体何をするのかという不安がある。」「朝起きれるか？」のように、インターン先が決まった人の不安はとても具体的。一番心配なのが、悩みの理由が「原因不明なところがすごく不安である。何を相談すべきかもわからない。」という悩みです。こういう人は、悩みを解消するために今自分が何をすべきなのかもわからなくなっているのではないのでしょうか。これらの人は悩み・不安を一人で抱えないで、早い時期にコーディネーターに相談してくださいね。

最後に「来週の感想文で聞いてほしいこと」という質問には、「あまり悩むようなことは聞かないでください」というお願いが、わかります。短い時間に書ききれないことってありますよね。でも読む方としては興味深い質問であることが多いのですが…。

(春山文枝)

事務局からの連絡

JUCEEのインターン生たちと交流しました

6/5にJUCEEのプログラムに参加しているアメリカからのインターン生14人と交流しました。「日本とアメリカの市民活動の相互比較」という漠然としたテーマであり、しかも英語での議論でした。けれども、参加した7人のNPOスクール生が積極的に質問や意見をいう姿が印象的でした。参加した人はしていない人に伝えてください、ね。ちなみにディスカッションの後には赤澤・山口が和食のお店&鴨川で交流してきました。

保険は既に全員分加入してあります

インターンが開始する人も出始めました。既に保険には加入してありますので報告しておきます。

電子会議室システムが稼働しています、が…

NPOスクールのWebSiteの中に、2期生専用の電子会議室を設けました。既にアドレスを紹介していますが、(<http://www.jca.apc.org/~ohbora/cgi-bin1999/kaigishitsu/>) 全然書き込みがありません。ぜひぜひ、活用してください、ね。

学級通信「ロマンとソロバン」に意見をどうぞ

みんなでこのニュースレターをおもしろくしていきましょう、とこの3回くらい書いていますが、全然反応がありません…。感想・情報提供・おしかり・励まし・質問など、事務局まで寄せて下さい。

(財)大学コンソーシアム京都 インターンシップ・プログラム NPO コース

「NPOスクール」ニュースレター <学級通信「ロマンとソロバン」> 1999.6/9 第4号

編集長：山口 洋典 編集：赤澤 清孝・桜井 政成・竹花 由紀子・春山 文枝 発行：中村 正

< NPO スクール事務局 >

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学研究支援センター 4階

TEL/FAX.075-465-1979

E-mail.ohbora@jca.ax.apc.org

URL.<http://www.jca.ax.apc.org/ohbora/>

< 財団法人 大学コンソーシアム京都事務局 (担当：武田) >

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル同志社大学新町校舎臨光館3階

TEL.075-251-4685

FAX.075-251-4687

URL.<http://manzoku.topica.ne.jp/daicen>